

Q&A

Q. どうやって願い出るの？

A. スカラネット・パーソナルから願出できます（願出には一定の条件があります）。スカラネット・パーソナルから願出できない場合は、所定の願出用紙により郵送でご提出ください。

Q. 途中で、通常の返還に戻すことはできるの？

A. できます。所定の用紙により願出してください。

Q. 卒業して1年以内は証明書不要ってホント？

A. 卒業翌年の6月以降に新たな所得証明書が発行されるまで、証明書の添付なしで審査可能です。

※他の条件もありますので、願出前に詳細を確認してください。

減額返還

Q. 返還する総額が減るの？

A. いいえ、利子を含む返還予定総額は変わりません。月々の返還額は 2/3、1/2、1/3 又は 1/4 になります。

Q. いつまでできるの？

A. 最長15年(180か月)です。ただし、1年ごとに願出する必要があります。

返還期限猶予

Q. 返還する総額が増えてしまうの？

A. いいえ、利子を含む返還予定総額は変わりません。

Q. どれくらいの期間延ばせるの？

A. 最長10年(120か月)です。病気・生活保護受給中など一部の事由は、その状態が継続している期間となります。ただし、1年ごとに願出する必要があります。

<経済困難事由>収入等の基準

減額返還		あなたが扶養している子供の人数	
		2人	3人以上
給与所得の方 (年間収入金額)	400万円以下	500万円以下	600万円以下
給与所得以外の 所得のある方 (年間所得金額)	300万円以下	400万円以下	500万円以下

返還期限猶予

給与所得の方 (年間収入金額)	300万円以下
給与所得以外の 所得のある方 (年間所得金額)	200万円以下

※被扶養者がいる場合、親への援助がある場合などは、一定額を控除して収入基準以下になる場合には願出が可能です。

スカラネット・パーソナルによる願出



<https://scholar-ps.sas.jasso.go.jp/>

郵送による願出

〒119-0385 ※専用郵便番号のため郵便番号と宛名のみで届きます。

独立行政法人 日本学生支援機構 猶予減額受付窓口

日本学生支援機構ホームページ



https://www.jasso.go.jp/shogakukin/henkan_konnan

奨学金相談センター

ナビダイヤル 0570-666-301

9:00~20:00 月曜~金曜(祝日年末年始除く)

JASSOの制度 減額返還・返還期限猶予

返還困難になった時、返還額を減らして返還期間を延ばす**減額返還**か、一定期間返還を先送りする**返還期限猶予**を願出することができます。

令和6年4月より、減額返還がさらに利用しやすくなりました



独立行政法人
日本学生支援機構
JASSO Japan Student Services Organization



減額返還・返還期限猶予制度の目的

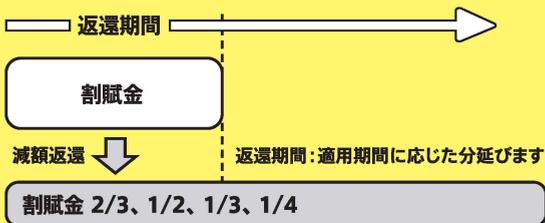
経済困難・失業・病気・災害などで月々の返還が困難になった場合でも、延滞することなく計画的に返還できるようにするための制度です。

ライフイベントを踏まえた制度に拡充!

減額返還制度とは

月々の返還金額を 2/3、1/2、1/3、1/4 に減らすことができます。

- ・ 利息を含む返還予定総額はいずれも変わりません。
- ・ 1年ごとの願出で、最長15年です。
- ◆ 延滞すると審査できません。延滞する前に願出しましょう。



※ 第一種奨学金「所得連動返還方式」選択者は利用できません



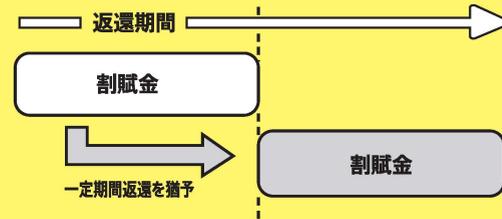
返還期限猶予制度とは

月々の返還を先に延ばすことができます。

- ・ 先に延ばした分、返還完了が延長されます。
- ・ 利息を含む返還予定総額は変わりません。
- ・ 1年ごとの願出で、最長10年です。

(ただし、病気、猶予年限特例など一部の対象者は、一定の条件に該当する期間、猶予できます)

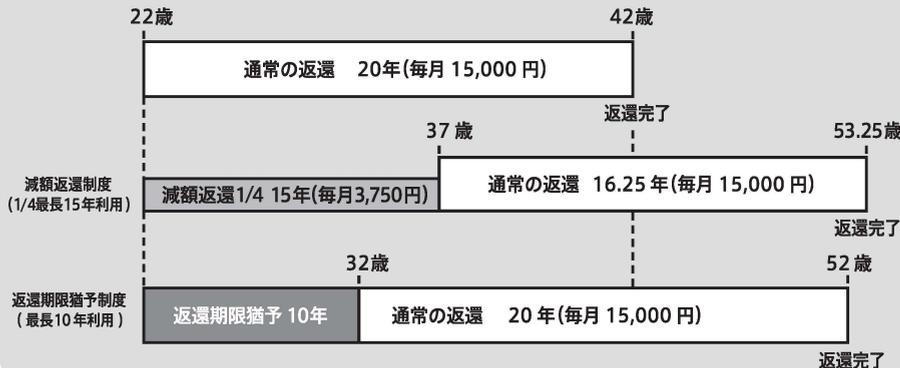
◆ 減額返還でも困難になった時、突発的事情で返還できない場合は、無理せず早めに願出しましょう。



※ 「減額返還」「返還期限猶予」どちらも審査があり、承認を受ける必要があります。また、毎年手続きが必要です。

制度を利用した場合の返還比較例

(月々の返還金額が15,000円、22歳から返還を開始して、20年間で返還を終える約束だった場合)



将来の返還負担を少しでも減らしたいから、減額返還を利用しようかしら

「返還するのかわりに」計画的に

